

県の糖尿病医療ツアー

徳島県内の観光地を巡りながら思い切り体を動かし、夜はヘルシーな食を満喫、最新医療機器による検診も入念に一。県が2010年度から実施する糖尿病医療観光のモデルツアーの内容が固まった。3

モデル内容固まる

泊4日の日程で、徳島大学病院での糖尿病検査と県内各地の観光を体験してもらう。3月に中国から患者や旅行業者を招き、感想を反映してツアー商品を完成。5～10月に中国・上海市で開かれる上海万博で全世界に売り出す。

3月 上海から第一便

感想反映し世界発売

早期の動脈硬化を発見できる診断装置、医療観光の検査メニューに含まれている。徳島大病院



モデルツアーは、中国の航空会社が運航する上海空港と徳島空港を結ぶチャーター便を使って開催。徳島大などを通じて集めた糖尿病患者や予備軍10人と、現地の旅行業者やマスコミ関係者10人の計20人を招待する。初日は満の道や大塚国際美術館を巡り、2日目は徳島大病院での検診が県南観光の視察後、阿波おどり会館で踊りを体験する。3日目は藍の館での藍染体験やかすた橋観光、4日目は徳島市内での買い物を楽しむ。観光メニューは、運動を兼ねてなるべく歩くように工夫されている。参加者には起床後に阿波踊り体験も踊ってもらう。夕食では、各宿泊施設が考案した県産食材を豊富に使いながらカロリーを抑えた献立を提供する。徳島大病院の検査は約10項目で、最新の超音波画像診断装置などを使い

血糖値や内臓脂肪量を計測。糖尿病につながる可能性がある自覚症状のない早期の動脈硬化や代謝異常を発見して、生活習慣

慣の改善を指導する。医療観光は、県が上海市を拠点に県内企業の販路開拓や観光誘客を図るグローバル戦略の一環。県としては初めて09年11月に常駐職員1人を派遣して同市内に開設した海

外拠点を生かし、万博でツアーをPRする。県が09年度から国の知的クラスター創成事業の選定を受け、県内大学や企業と連携して進めている糖尿病研究とも連

動。将来的には新たに実用化された治療法や薬を使った徳島だけのサービスを提供するなど、と連携したツアー開催の可能性も検討する。企画員室を統括する県

新産業戦略課は「徳島の自然や文化、食の魅力を一度に体験しながら、健康づくりに役立つモデルツアーが完成した。糖尿病治療といえば徳島というイメージを世界の人に広めたい」と話している。